

桜が丘地域でセアカゴケグモが確認されています

セアカゴケグモはもともとオーストラリアを原産地とする毒グモで、特定外来生物に指定されています。

しかし、国内でも広く定着がみられており、県内では平成20年の初確認以降、各地での確認の報告があり、どこに生息していてもおかしくない状況です。

セアカゴケグモはおとなしく、攻撃性はありませんが、触るとかまれることがあります。

見つけたときは

素手で触らないように、ビニール製の手袋等を着用して駆除してください。

駆除は市販されている殺虫剤（ピレスロイド系）の噴霧が効果的です。殺虫剤がない場合は、靴で踏みつぶしてもかまいません。

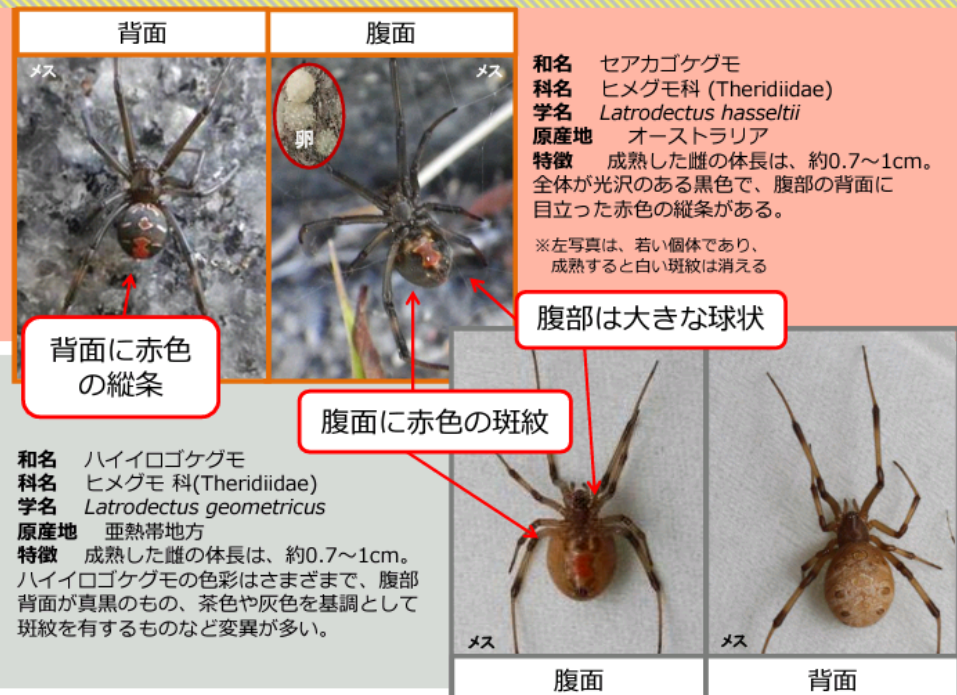
卵を見つけたときは、ビニール袋に入れて踏みつぶしてください。

市は、個人・事業所などの私有地内の駆除は行っておりません。

個人宅などで見つけた場合は、ご自分で駆除するか、専門の駆除業者に依頼してください。

発見した時は、洗い流したりせず、殺虫剤（キンチョール・フマキラー・アースジェット等）を噴霧するか、踏みつぶす等して、少しでも数を減らしましょう。※素手で触らないように。

セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモ にご注意ください！



ゴケグモの被害について

※毒をもっているのは雌だけです

咬まれたときの症状

- 局所の疼痛、熱感、痒感、紅斑、硬結、区域リンパ節の腫張が生じます
- 通常は数時間から数日で症状は軽減しますが、時に脱力、頭痛、筋肉痛、不眠などの全身症状が数週間継続することがあります
- 重症例では、進行性の筋肉麻痺が生じます

咬まれた場合は

- 咬まれたときは、すみやかに医療機関にご相談ください
- 重症化した場合は抗毒素血清による治療が必要です
- 咬んだクモの種類がわかるように、できれば殺したクモを病院へご持参ください

咬傷例

- ゴケグモは攻撃性はありませんが、触ると咬まれることがあります
- 日本では主に6～10月にセアカゴケグモの咬傷例が報告されており、ほとんどが軽症ですが、重症化することもあります
- 日本ではセアカゴケグモの毒で死亡した例はありませんが、オーストラリアでは死者が出ています（血清開発後の死亡例はありません）